

とちぎ

2017

# 県政のあゆみ



# 1月-2月

## オールとちぎ体制で結婚支援

### とちぎ結婚支援センターがオープン

県や市町、関係団体で構成する「とちぎ未来クラブ」は、結婚支援の総合窓口となる「とちぎ結婚支援センター」を1月14日に開所しました。センターでは、マッチングシステムによるパートナー探しをはじめ、出会いの場イベントや結婚サポーターによる縁結び事業など多様な結婚支援を実施し、結婚を希望する方々のニーズに合わせた幅広い出会いの機会を提供しています。



1月

また、11月22日には、小山市が運営する「とちぎ結婚支援センター小山」もオープン。今後は、各市町との連携を図りながら、結婚支援を行っていきます。

\*\*\*\*\*

## 県職員時代に培った知識・経験で農村地域を元気に

### ふるさと活力応援隊発足式



農村地域では、人口流出や急速な高齢化の進行により、耕作放棄地の増加や集落機能の維持が危惧されています。こうした中、県内各地で県職員OB・OGが現役時代の知識や経験を生かして、集落営農や地域づくりに貢献しています。

そこで、こうしたOB・OGがそれぞれの地域でより活躍できるよう「ふるさと

活力応援隊」として登録し、各隊員へ行政情報の提供や活動事例の紹介を行うほか、隊員間のネットワークづくり等を推進することとし、1月23日に発足式を開催しました。

1月

\*\*\*\*\*

## 栃木県のブランド力向上へ！

### 「とちぎブランド取組方針」策定

観光誘客や企業誘致、県産品の販売、移住促進など、すべての分野で選ばれるとちぎとなることを目指して、2月1日に「とちぎブランド取組方針」を策定しました。この方針は、「地域資源の磨き上げ」と「戦略的な情報発信」を二本柱としており、今後はこれに基づいて、県民や行政、民間事業者等が一体となってオールとちぎでブランド力向上の取組を展開していきます。



2月

**「とちぎの花」を東京でPR  
第66回関東東海花の展覧会**



花に対する理解を深め、一層の花の普及拡大を図ることを目的に、2月3日から5日までの3日間、東京都池袋のサンシャインシティで、「関東東海花の展覧会」が開催されました。今回は栃木県が当番県として、開催運営と併せて特別展示を行い、「笑顔咲く VERY GOOD LOCAL（ベリー グッド ローカル） とちぎ」をテーマに、花々で栃木県の豊かな自然と観光地を紹介しました。

また、初日には秋篠宮殿下をお招きし、御観覧いただきました。

\*\*\*\*\*

**将来のアスリートの発掘を目指して**

**とちぎ未来アスリートプロジェクト「エクセレントキッズ・ジュニア」認定式**

将来、国体やオリンピックで活躍できるアスリートの発掘を目指す「とちぎ未来アスリートプロジェクト」。その一環として、2月5日、優れた才能を持つ子どもたちを「エクセレントキッズ・ジュニア」として認定し、認定証の授与を行いました。



対象となったのは、第77回国民体育大会「いちご一会（いちえ）とちぎ国体」において、「少年種別」（中学校3年生から高校3年生まで）の中心となる、今年度の小学校3年生から6年生までの子どもたち。特に優秀な成績を収めた131人に、「エクセレントキッズ・ジュニア」の認定証が授与されました。今後は、トレーニングや栄養学習などの様々なプログラムを受講しながら、世界での活躍を目指していきます。

\*\*\*\*\*

**県産陶磁器を海外にPR**

**「とちぎの器」NY 展示商談会を開催**



県では、伝統工芸品に指定している県産陶磁器（益子焼、小砂焼、みかも焼）の海外販路開拓を支援するため、アメリカ・ニューヨークにおいて、2月7日から11日まで展示商談会を開催しました。県産陶磁器で県産日本酒や加工食品等を提供するレセプションは、多くの来場者で賑ったほか、商談会では、陶磁器バイヤーや飲食店関係者等からの受注につながりました。今後も、県内陶磁器の海外輸出に向けた支援を継続していきます。

### 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」シンポジウムを開催

2月8日、県総合文化センターで、2020年に開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた機運の醸成を目的に、「スポーツの輪 つなげ！世界と栃木『東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン』シンポジウム」を開催しました。



オリンピック・パラリンピアン等をゲストに迎えて、県民と大会に出場する選手たちとの交流や、栃木県の魅力の生かし方、メダル獲得秘話などについて、パネルディスカッションやトークショーを行いました。

\*\*\*\*\*

### 経済分野、教育分野における協力を促進

台湾・高雄市と覚書を締結



2月17日、高雄市政府鳳山（ほうざん）行政センターにおいて、福田知事と陳菊（ちん きく）高雄市長は「栃木県と高雄市との経済分野及び教育分野における友好協力に関する覚書」を締結しました。知事は「観光、経済、教育などの分野で高雄市民、栃木県民が主体となった交流が推進されるよう尽力したい」と述べ、陳市長は「産業面で共通点が多く、航空宇宙、精密機械などの分野で連携を深めるとともに、教育・文化・スポーツなどでも活発な交流を進めていきたい」と述べるなど、今後の交流促進に大きな期待が持てるものとなりました。

\*\*\*\*\*

### 八溝（やみぞ）地域の観光交流を支える道路の確保

一般国道294号 小川湯津上バイパス開通

那珂川町小川から大田原市佐良土（さらど）までの急カーブや屈曲部を解消するため、平成12年度から整備を進めてきた小川湯津上バイパス（工区延長2,950メートル）のうち、新橋である新箒橋（橋長179.5メートル）を含む延長1,950メートルが2月26日に開通しました。



これにより、バイパス区間が全線開通し、安全で円滑な通行が確保され、一層の観光交流や地域振興が期待されます。

## 2月-3月

### 県の魅力を発信するサイトがオープン

2月

#### とちぎブランド公式サイト「VERY GOOD LOCAL とちぎ」開設

栃木県の魅力を県内外に広く発信するため、とちぎブランド公式サイト「VERY GOOD LOCAL (ベリー グッド ローカル) とちぎ」を2月27日に開設しました。栃木県の食や伝統文化、地域づくりなどに携わる方々へのインタビュー記事や、おでかけ動画マガジン「LeTRONC (ルトロン)」とのタイアップ動画などにより、本県の魅力を紹介しています。



\*\*\*\*\*

### 東京2020大会に向けて「とちぎの文化」を発信

3月

#### 「とちぎ版文化プログラム」を策定

栃木県では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化を通じた大会への参加機運の醸成と文化の底上げ及び地域活性化を図るため、3月16日に「とちぎ版文化プログラム～つなぐ文化 輝くとちぎ 東京2020大会の先へ～」を策定しました。

9月には、県内の文化に関する各種情報を集約した「とちぎ文化情報ナビ」も開設。今後は、地域が実施する文化事業への支援にも取り組んでいきます。



## 3月-4月

### “とちぎ”の雇用対策を推進！

栃木県雇用対策協定を締結

3月



県と栃木労働局は、栃木県における雇用対策を協働して推進するため、3月24日に「栃木県雇用対策協定」を締結しました。国と県とが共通の目標の下、地方創生に向けた取組の実施や、障害者雇用対策や働き方改革の推進など、それぞれの強みを発揮しながら連携体制を強化し、一体となった雇用対策を推進していきます。

\*\*\*\*\*

### 介護人材の確保に向けて

3月

「第1回キラキラ☆介護事業所グランプリ」「栃木県キラキラ介護職員スマイルフォトコンテスト」を開催

雇用管理改善の優良な取組を行う介護事業所などを表彰し、県内介護事業所の雇用環境等の向上や介護人材の確保につなげることを目的に、3月28日に「第1回キラキラ☆介護事業所グランプリ」及び「栃木県キラキラ介護職員スマイルフォトコンテスト」を開催しました。

表彰式では、受賞者に対して記念品の贈呈などが行われたほか、受賞者が事例発表を行い、それぞれが独自に取り組んでいる職場改善策などを紹介しました。



\*\*\*\*\*

### 全国初！県内全市町を走破する国際サイクルロードレース開催！

3月・4月

第1回ツール・ド・とちぎ開催



3月31日から4月2日まで、2年間で県内全市町を走破する国際サイクルロードレース「第1回ツール・ド・とちぎ」が開催されました。プロのロードレーサー達が県内各地の山間部や街中を疾走する姿は迫力満点で、レースを一目見ようと県内外から訪れた多くの方（観客数：約6万6千人）が、沿道で声援を送っていました。また、“自転車先進県とちぎ”の発信や観光誘客（経済波及効果：約10億9千万円）、官民連携によるオール栃木体制での実施など、多くの成果を残すことができました。

# 4月-5月

## おもてなし日本一の栃木県を目指して！

「とちぎ観光おもてなし条例」がスタート

栃木県が“また訪れたい観光地”として選ばれるために、すべての県民が一体となって観光の振興に取り組むことなどを定めた「とちぎ観光おもてなし条例（※）」が、4月からスタートしました。

本条例では、栃木県を訪れる人のことを考え、郷土愛を持って、感謝の気持ちや思いやりをおもてなしとして“かたち”に表していくことを基本に据えています。今後、この条例に基づき、観光立県とちぎの実現に向けた様々な取組を、県を挙げて推進していきます。

※「観光立県とちぎの実現に向けたおもてなしの推進等に関する条例」

4月



\*\*\*\*\*

## 栃木県の“本物”の魅力を発信！

4月～6月

「本物の出会い 栃木」プレデスティネーションキャンペーン（プレDC）を開催



県では、平成 30 年春の「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン（DC）の1年前キャンペーンとして、4月から6月にプレDCを開催しました。プレDCでは、地域と一体となって“とちぎならではの”特別企画やイベントでお客様をお迎えするとともに、県内各地の多彩な観光資源や、とちぎの本物の味覚を積極的にPRしました。DC本番では、プレDCでの成果と課題を踏まえながら、

国内外から訪れるお客様を心のこもった“おもてなし”でお迎えしていきます。

\*\*\*\*\*

## 民生委員制度 100 周年

5月

知事による一日民生委員活動を実施

平成 29 年に創設 100 周年を迎えた民生委員制度について、その活動の意義ややりがいを県民の皆さんに広く知っていただくため、5月17日に福田知事による一日民生委員活動を実施しました。知事は、県民生委員児童委員協議会の日向野文代会長から、一日民生委員の委嘱状とタスキを受け取り、一人暮らしの高齢者宅の訪問等を行いました。活動後、知事は「民生委員の活動内容を広く知ってもらい、民生委員を応援する地域の機運を高めていきたい」と話しました。



## オールとちぎ体制で地球温暖化対策を強化

県と県内 25 全市町による「COOL CHOICE とちぎ」共同宣言を実施

5月



地球温暖化対策の一層の強化を図るため、5月22日に栃木県公館で、福田知事と県内25全市町の首長による「COOL CHOICE（クールチョイス）とちぎ」共同宣言を実施しました。

「COOL CHOICE（賢い選択）」は地球に優しい「製品」や「サービス」、「行動」を選ぶ取組。

今回の共同宣言をキックオフとして、オールとちぎ体制で「COOL CHOICE とちぎ」県民運動を展開し、家庭部門を中心に温室効果ガス排出量の大幅削減を図っていきます。また、市町や事業者と連携し、節電等に関する普及啓発や「クールビズ」などの取組に加え、「COOL CHOICE とちぎ」総合サイトによる情報発信や、新たに省エネ家電への買換を促進する「COOL CHOICE とちぎ チャレンジ！」などの事業に取り組みながら、県民運動を盛り上げていきます。

\*\*\*\*\*

## 新スタジアムが着工

総合スポーツゾーン新スタジアム起工式

5月

5月29日、西川田の競馬場跡地において、総合スポーツゾーン新スタジアムの起工式が行われました。起工式では、福田知事や小林県議会議長をはじめ、県や地元の関係者、設計者、施工者など約120名が出席し、鍬入れが行われました。

新スタジアムは、鉄筋コンクリート（一部鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造）の地上4階建てで、観客席は約25,000席、Jリーグ施設基準を満たすサッカー場及び全天候型陸上競技場として整備します。



また、7月18日には新武道館の起工式が行われました。新武道館は鉄筋コンクリート造の地上2階建てで、「メイン武道場」、「サブ武道場」、「弓道場」から成る施設として整備します。新スタジアムと新武道館は、いずれも平成32年度の供用開始を予定しています。



## Bリーグチャンピオンシップ初代王者！

6月

リンク栃木ブレックスに栃木県スポーツ功労賞を授与



リンク栃木ブレックスが B リーグチャンピオンシップ 2016-2017 において優勝し、初代王者になりました。

6月3日、県庁から宇都宮市役所までを結ぶシンボルロードで優勝記念パレードが行われ、選手たちは沿道を埋めた約3万人のファンに笑顔で手を振って応えていました。

その後、オリオンスクエアで行われた優勝報告会では、広く県民に希望と活力を与えた功績をたたえるため、福田知事から栃木県スポーツ功労賞が授与され、

集まった多くのファンとともに祝福をしました。

\*\*\*\*\*

## 御遺徳をたたえ、哀悼の意をささげる

6月

栃木県名誉県民 故 船村徹氏を偲ぶ会

御逝去された塩谷町出身の作曲家で、栃木県名誉県民の船村徹さんを偲ぶ会を、6月13日に県総合文化センターで開催し、遺族をはじめ県民など1,500人が参加しました。

ステージには船村さんの遺影が飾られ、参列者が次々に献花台に菊の花を供えました。その後、船村さんの門下生4人が、「別れの一本杉」や「王将」「矢切の渡し」などの名曲を披露。また、サプライズで登場した鳥羽一郎さんが「兄弟船」を熱唱して会場を沸かせました。



\*\*\*\*\*

## とちまるゴルフクラブの利用者数が70万人に到達

6月

「とちまるゴルフクラブ利用者70万人達成記念セレモニー」を開催



とちまるゴルフクラブでは、6月15日、平成4年10月の開場以来の利用者数が70万人に到達しました。これを記念して、「とちまるゴルフクラブ利用者70万人達成記念セレモニー」を開催し、70万人目とその前後の方への記念品贈呈などを行いました。

今後も県民の皆さんに愛されるゴルフ場づくりを目指していきます。

## 第22回全国障害者スポーツ大会に向けて 大会の県準備委員会を設立

6月

2022年秋に本県で開催する全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の準備を進めるため、6月16日、競技団体や関係団体等で構成される「第22回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会」を設立しました。



第1回会議では、会場地選定基本方針や大会の愛称「いちご一会とちぎ大会」、スローガン「夢を感動へ。感動を未来へ。」などについて決定されました。

\*\*\*\*\*

## 大規模災害時の連携を強化

6月

### 「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」合同情報伝達訓練を実施



大規模災害時における公共土木施設の復旧について、国、自衛隊、警察、県、市町、(一社)栃木県建設業協会が連携し、迅速な初動対応が図れるよう、6月16日に合同情報伝達訓練を実施しました。

今回の訓練は、大規模な地震により道路交通遮断や孤立集落が発生したことを想定し、現地からの写真や映像

の伝送を織り交ぜ、通信機器を用いて行われました。

\*\*\*\*\*

## 本県の魅力を県外に発信

6月

### 明治神宮野球場でPRイベントを開催

6月17日に、本県出身で「とちぎ未来大使」である真中満監督率いる東京ヤクルトスワローズのプロ野球公式戦「東京ヤクルトスワローズ×北海道日本ハムファイターズ」を、「ベリーグッドローカルとちぎPresents」と冠し、栃木県のPRを行いました。



イベントには福田知事に加え、リンク栃木ブレックスの田臥(たぶせ)勇太キャプテンが出演。球場外のイベントステージでは、福田知事と田臥選手のトークのほか、県内ご

当地キャラクターによる観光PRや「つば九郎」によるフリップショーなどが行われました。

また、試合開始前のオープニングイベントでは、福田知事と田臥選手から両軍へ花束が贈呈されたほか、とちまるくんによる始球式が行われ、球場は大いに盛り上がりました。

## 6月-7月

### 県内5市町の屋台が市街地を練り歩く

お祭り屋台引き回しパレードを実施

6月



6月17日、「とちぎ版文化プログラム」におけるリーディングプロジェクト事業の一環として、県内5市町の屋台が宇都宮市の市街地を練り歩く「お祭り屋台引き回しパレード」を、「県民の日記念イベント」に合わせて実施しました。ユネスコ無形文化遺産に登録された「烏山の山あげ行事」、「鹿沼宮神社祭の屋台行事」をはじめ、宇都宮市、栃木市、

大田原市の各屋台が集まり、宇都宮市役所と県庁を結ぶシンボルロードを行進。約2万人の観客が、豪華競演を楽しみました。

\*\*\*\*\*

### 基調講演で本県の観光、産業、食などの魅力を発信

知事が米国・インディアナ州等を訪問

6月

6月18日から24日まで、福田知事が県議会議員3名と、米国・ワシントンD.C.及びインディアナ州を訪問しました。

インディアナ州においては、エリック・ホルコム州知事と今後の交流について協議を行ったほか、現地企業や各産業分野の団体の代表者、大学関係者等と意見交換を行いました。また、地域最大級のイベントであるインディアナ日米協会の年次晩餐会で、現地企業や地域のリーダーなど約600名を前に栃木県の魅力を発信しました。



\*\*\*\*\*

### 「食べて強くなろうプロジェクト」を推進

県内スポーツチームに「食育キャプテン」を委嘱

7月



体づくりと密接な関連のある「スポーツ」を通して、子どもたちに親しみやすい食育を推進する「食べて強くなろうプロジェクト」の一環として、7月10日に県内7つのスポーツチームに「食育キャプテン」を委嘱しました。

委嘱されたスポーツチームは、スポーツ教室や交流会など、子どもたちと触れ合う場において、体づくりに欠かせない「食」の重要性や経験談などを直接、子どもたちに伝える活動をしていきます。

## 7月-8月

### 大学との連携により学生のUIターン就職を促進！

「UIターン就職促進協定」を100校目と締結

7月11日、栃木県と東海大学との間で学生のUIターン就職支援を目的とした、「UIターン就職促進協定」を締結しました。平成27年度から実施している首都圏大学等との就職促進協定は今回の締結で、節目となる100校目を達成しました。

今後も、協定締結校との連携を図り、県内企業へ就職を希望する学生の支援を行っていきます。

7月



\*\*\*\*\*

### 栃木県での国体開催が内定

2022年第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）の開催が内定

7月



2022年の第77回国民体育大会「いちご一会(いちえ)とちぎ国体」を栃木県で開催することについて、7月18日の(公財)日本体育協会理事会において内定となり、東京都の品川プリンスホテルにおいて、日本体育協会会長から福田知事に開催内定書が交付されました。

県準備委員会では、国体の成功に向けて、市町や競技団体、各種団体等と連携・協力しながら、とちぎの魅力・実力を世界に発信できる大会となるよう、着実に準備を進めていきます。

\*\*\*\*\*

### 援助を必要としている方へ思いやりを

ヘルプマークの配布を開始

8月

外見からは分かりにくい、聴覚障害者や高次脳機能障害者、内部障害者、難病患者の方々などが、必要としている支援を受けやすくするため、周囲の人に配慮を促す「ヘルプマーク」の配布を8月1日から開始しました。

このマークを見かけたら、電車・バスの中で席を譲る、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をとっていただけよう呼びかけています。



## 山の魅力や恩恵、山の安全などについて考える 第2回山の日記念全国大会

8月



国民の祝日「山の日」の第2回全国大会を、8月11日に那須町で開催しました。記念式典には約900名が出席。映像や演劇などを通じ、とちぎの山が育んだ自然や豊かな食の恵みなどを紹介したほか、「山の日」の提唱者である故・船村徹さんが総合プロデュースを務めた「山はふるさと」の合唱や、山の魅力を後世に伝える方法についてのシンポジウムが行われました。

また、同日、那須町の余笹川ふれあい公園では「歓迎フェスティバル」を開催したほか、春から秋にかけて県内全市町で連携イベントを行い、県民の皆さまが山や森林に触れていただく機会の創出に努めました。

\*\*\*\*\*

## 世界で活躍するスポーツ選手たちの功績をたたえて

8月・10月・12月

### 栃木県スポーツ功労賞授与式

本県出身で世界大会のメダリスト3名に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

8月18日に授与したのは、第23回夏季デフリンピック競技大会（サムスン2017）のバレーボール競技で金メダルを獲得した宇賀耶早紀（うがや さき）選手。10月2日は、第34回世界柔道選手権大会の男子個人戦60キログラムで金メダルを獲得した高藤直寿（たかとう なおひさ）選手。12月14日は、IFSCクライミング・ワールドカップ2017で男子複合年間総合1位を獲得した檜崎智亜（ならさき ともあ）選手です。



3選手の今後の活躍に期待します。

# 8月-9月

## 県民の生命と安全を守るために

### 栃木県消防防災ヘリコプター2代目「おおるり」就航式

8月



8月24日、栃木県の消防防災ヘリコプター「おおるり」の2代目機体の就航式を、芳賀町の栃木ヘリポートで行いました。

初代「おおるり」は1997年に就航。長年、県民の生命と安全を守るために活躍してきましたが、老朽化に伴い、2代目の機体に更新されました。2代目「おおるり」は、航続時間が初代より延びたほか、機体の下部に赤外線カメラが搭載され、山林火災などで熱を感知し、消失範囲の把握ができるようになりました。

今後は、人命救助や消火活動などに広く活用していきます。

\*\*\*\*\*

## 災害に備えて

### 栃木県・大田原市総合防災訓練

8月

8月27日、大田原市中田原工業団地で、県と大田原市共催の総合防災訓練を実施しました。

東日本大震災の教訓を踏まえ、消防・警察・自衛隊等の防災関係機関が連携した救出・救護をはじめ、地元の自主防災組織や自治会による避難及び避難所運営、DMAT（災害派遣医療チーム）による医療救護活動、ライフライン復旧、災害時の応援協定に基づく緊急物資輸送など、さまざまな訓練が行われ、約90団体、約1,400人が参加しました。



\*\*\*\*\*

## 本県企業や経済団体、高校生らと交流

### エリック・ホルコム インディアナ州知事が来県

9月

インディアナ州 交流レセプション



9月9日に米国・インディアナ州のエリック・ホルコム州知事ほか訪問団38名が来県しました。ホテル東日本宇都宮で開催されたレセプションでは、県内企業や経済団体等の方々と交流したほか、宇都宮北高校では、高校生とバスケットボールによる交流を行いました。ホルコム知事は初めての来県で、視察をした日光東照宮では、ガイドの説明を熱心に聞いていました。

# 10月

## 総合運動公園サッカー・ラグビー場の改修が完了

### 総合運動公園サッカー・ラグビー場完成式

10月1日、県総合運動公園において、改修工事が完了したサッカー・ラグビー場の完成式を開催しました。

完成式には、県内のサッカー・ラグビーチームに所属する児童生徒や社会人、栃木SCや栃木ウーヴァFCの選手など、約450人が参加しました。式典では、福田知事のホイッスルを合図に、サッカーボールを蹴り入れる「キックイン」とラグビーボールを投げ入れる「ラインアウト」が行われ、新たなグラウンドの完成を祝いました。

10月



\*\*\*\*\*

## ハンガリーオリンピック委員会と覚書締結

### ハンガリーオリンピック委員会と事前トレーニングキャンプに係る覚書を締結

10月



10月6日に、ハンガリーオリンピック委員会及び日本オリンピック委員会と、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における、ハンガリー選手団の事前トレーニングキャンプに係る覚書を締結しました。この覚書の締結によって、栃木県とハンガリーオリンピック委員会は、日本オリンピック委員会の支援の下、競技施設のあっせんや県民

との交流の実施などについて協力して進めることを確認しました。

また、この覚書締結をきっかけに、11月7日から12日にかけて、福田知事がハンガリー・ブダペスト市を訪問し、各競技団体に対して栃木県の競技施設等に関するプレゼンテーションを行いました。その結果、ハンガリー陸上競技協会との覚書の締結に至り、栃木県での事前トレーニングキャンプの実施が決定しました。

\*\*\*\*\*

## 元気な森を次世代へ引き継いでいくために

### 「とちぎの元気な森づくり県民税」10年間延長が決定

10月

平成20年度から導入され、荒廃した森林の整備等に役立ててきた「とちぎの元気な森づくり県民税」については、森林の高齢化など森林・林業が現在抱える課題について早急に対応する必要があることから、10月に課税期間を平成30年度から10年間延長することとしました。

今後は森林の若返りに重点を置き、植栽や身近な施設の木質化などを支援する取組を進めていきます。



## 外国人観光客を呼び込むために！

### とちぎインバウンド大臣を任命

10月



県では、海外から本県への誘客を促進するため、10月13日に、海外における高い情報発信力と、本県の魅力をPRする実践力のある香港の旅行会社社長・袁文英（えんぶんえい）氏を「とちぎインバウンド大臣」に任命しました。今後は、袁氏に「とちぎインバウンド大臣」として本県の魅力を発信していただきとともに、海外誘客に関するアドバイスをいただきながら、本県を訪れる外国人観光客をさらに増やしていきます。

\*\*\*\*\*

## 大阪で企業誘致イベント開催

### とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in 大阪を開催

10月

関西地方から本県への企業立地促進を図るため、10月16日に、企業立地・魅力発信セミナーを大阪市内で開催しました。この日は、関西地方に本社や拠点を持つ企業をはじめ、金融機関や不動産業者など企業立地に関わる55社88名が参加。セミナーでは、福田知事がプレゼンテーションを行い、本県の交通利便性や、大規模な自然災害が比較的少ないこと、豊富な観光資源や地酒をはじめとした県産品など、優れた企業立地環境と魅力をアピールしました。



\*\*\*\*\*

## 県産木材の積極的な「木づかい」を推進！

### 「とちぎ木づかい条例」が施行

10月



県を挙げて積極的な「木づかい」を進めるため、栃木県議会議員提出による「とちぎ木づかい条例（※）」が10月18日に施行されました。栃木県の豊かな森林資源を積極的に活用することにより、「植えて、育てて、伐（き）って、使ってまた植える」という循環利用を進め、県民共有の財産である栃木県の森林を、健全な姿で次の世代に引き継いでいきます。

※「栃木県県産木材利用促進条例」



# 10月-11月

## 栃木県の文化資源を県庁昭和館に投影

10月

プロジェクトマッピング in 県庁「ヒカリノタビ～文化が彩る 栃木への誘い～」を実施

「とちぎ版文化プログラム」におけるリーディングプロジェクト事業の一環として、優れた文化資源など、とちぎの魅力を国内外に広く発信するため、10月20日・21日の2日間、プロジェクトマッピングイベント『ヒカリノタビ～文化が彩(いろど)る 栃木への誘(いざな)い～』を県庁で開催しました。



「祭り」をはじめ、栃木県が誇る日本有数の自然や、歴史的価値の高い建造物などを織り込んだ3D感覚の映像が県庁昭和館を彩り、あいにくの雨にもかかわらず、多くの方々に美しく迫力あるエンターテインメントを体感していただきました。

\*\*\*\*\*

## より多くの障害者が芸術分野で活躍できる場を

11月

栃木県障害者芸術支援員養成研修を初開催



芸術分野における障害者の社会参加を促進するため、より多くの障害者が芸術文化に触れ、才能を発揮できるよう、ノウハウを有する支援者を育成する研修会を初めて開催しました。

11月7日、12日、22日、26日に行われた事前学習には、合わせて28名が参加し、障害のある作家の作品を多く展示する那珂川町の「もうひとつの美術館」で企画展を鑑賞。障害者芸術に触れた参加者からは、「障害のある方に個性を発揮してもらうための支援について考える良い機会となった」「日常生活の中で生まれたものを作品として見出す姿勢を学びたい」といった声がありました。

\*\*\*\*\*

## 文化振興への貢献をたたえて

11月

栃木県文化功労者表彰式

県では、本県の文化振興に著しく貢献された方を、栃木県文化功労者として表彰しており、平成29年度は福田文子(芸名 和久文子)氏選ばれました。

福田氏は、永年にわたり、箏曲の可能性を追求しながら、ジャンルにとらわれず、国内外において広く演奏活動をされており、県内の大学等で教鞭を執るほか、学校の部活動の指導など、後進の育成にも注力され、次世代の邦楽界を担う演奏家を多数輩出されています。

11月8日に表彰式が行われ、第1回表彰(昭和24年)からの受章者は、合計145人(学術38人、芸術76人、その他31人)になりました。



# 11月

## 誰もがいきいきと活躍できるとちぎを目指して

「とちぎ女性活躍応援フォーラム 2017」を開催

11月



11月10日、男女がともにいきいきと活躍できるとちぎの実現に向け、「とちぎ女性活躍応援フォーラム 2017」を開催しました。

今年度創設された「男女生き生き企業表彰」の表彰式が行われ、女性の活躍や働き方の見直しに取り組む県内の企業3社に優秀賞が贈られました。また、イクボスやワーク・ライフ・バランスをテーマとした基調講演のほか、パネルディスカッションが行われました。

\*\*\*\*\*

## 地域間交流を支える道路を確保

11月

### 一般県道板荷引田線 松坂トンネルが開通

鹿沼市板荷地区と鹿沼市引田地区を結ぶ一般県道板荷引田線の交通不能区間の解消と、思川開発事業に伴う工事用道路を確保するため、平成17年度から現道の拡幅とトンネル整備を進めてきた松坂トンネル（延長703メートル）が、11月12日に開通しました。

これにより、道路ネットワークの向上が図られ、地域間交流や地域振興など、活力あふれる地域づくりが期待されます。



\*\*\*\*\*

## 全国初の地産地消の電気料金メニューが誕生

11月

「とちぎふるさと電気」創設についての基本合意書を締結



11月16日、県企業局と東京電力エナジーパートナー株式会社は、新たな地域貢献の方策として、県が保有する水力発電所を電源とした全国初の地産地消の電気料金メニュー「とちぎふるさと電気」を創設することについての基本合意書を締結しました。これにより、電気を購入した事業者の料金の一部が、県の行う環境保全事業などに活用されます。

平成30年4月から電気の供給を開始します。

## 全国から 1,730 名の選手が栃木県に集結！

11月

「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」を開催

若年者が技能レベル日本一を競う「第55回技能五輪全国大会」(11月24日から27日まで)と、障害がある方が日頃培った技能を競う「第37回全国アビリンピック」(11月17日から19日まで)を、栃木県で初めて開催しました。



本県からは、168名の選手が出場。技能五輪で32名(金賞4名、銀賞4名、銅賞7名、敢闘賞17名)、アビリンピックで10名(金賞2名、銀賞2名、銅賞3名、努力賞3名)が入賞し、素晴らしい成績を収めました。また栃木県選手団として、技能五輪では全国3位となり「優秀技能選手団賞」を獲得したほか、アビリンピックでは、入賞者数全国1位となりました。



大会が行われた会場周辺では、併催イベントや特産品のふるまいなどによる“おもてなし”で、約24万5千名の来場者に対し、栃木県の魅力を存分にアピールしました。

\*\*\*\*\*

## BCP 策定支援目標「5年で154社」を2年以上前倒して達成

11月

「栃木県 BCP 策定支援プロジェクト」早期目標達成



平成27年1月に県、商工3団体及び東京海上日動火災保険株式会社で締結した「栃木県BCP(事業継続計画)策定支援に関する協定」に基づき展開された、「栃木県BCP策定支援プロジェクト」。BCP策定支援企業数が11月20日に、5年間の目標である154社に到達しました。

このプロジェクトは、地震等の災害発生時に県内事業者の被害を最小限にとどめつつ、事業の継続及び早期復旧に資することを目的としており、引き続き多くの県内企業のBCP策定を支援していきます。

# 11月-12月

## 国内外で活躍した方々を招待

“輝くとちぎ人”の集い

11月



スポーツ・文化・学術・技能などの各分野で、国内又は国外において、顕著な功績のあった方々に対し、感謝と激励の意を表するとともに、その功績を広く県内外に発信するため、“輝くとちぎ人”の集いを、11月23日に県公館で開催しました。



平成28年度文化功労者で紫綬褒章を受章した篠崎一雄氏や、平成29年度県文化功労者の福田文子（芸名 和久文子）氏、県スポーツ功労賞受賞者のリンク栃木ブレックスのほか、国際大会や全国大会の入賞者などさまざまな分野で活躍している約160名が招待され、出席者同士が和やかに懇談し、交流を深めていました。

\*\*\*\*\*

## 首都圏での情報発信力を強化！

栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」がリニューアルオープン

12月

県では、東京スカイツリータウン®に設置している栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」を、12月1日にリニューアルオープンしました。



改装後の店舗は、鹿沼組子や烏山和紙を使用するなどスタイリッシュな内装になったほか、新たにイートインスペースを設け、旬の県産農産物を使用したとちぎ自慢の料理やスイーツ、地酒などを楽しめるようになりました。

今後も、首都圏における情報発信拠点として、本県の特産品や観光の魅力を発信していきます。

\*\*\*\*\*

## 動画とInstagramで魅力を発信

PR動画「知られ猿（ざる）とちぎ旅」公開

12月



栃木県の魅力をPRする動画「知られ猿（ざる）とちぎ旅」を、12月7日に公開しました。

動画は、猿のインスタグラマー「トッチー」が、人間の人気インスタグラマーと県内を旅し、“インスタ映え”テクニックとともに県の魅力を紹介していくストーリーです。実際に主人公トッチーのイン

スタグラムアカウント (@tocchy3636) も開設し、栃木県の魅力を発信しています。

**障害の有無にかかわらず、誰もが共に支え合う社会の実現に向けて**

12月

**「共生社会とちぎづくり表彰」として模範となる事業者を表彰**

障害の有無にかかわらず、誰もが共に支え合う「共生社会とちぎ」の実現を目指し、すべての県民が障害及び障害者に対する理解を深め、障害者差別解消を推進することを目的に、12月7日、「栃木県障害者フォーラム」を県庁で開催しました。

フォーラムでは、栃木県障害者差別解消推進条例に基づき、障害者の差別解消や工賃向上等に貢献されている事業者を表彰

する「共生社会とちぎづくり表彰」を初めて実施。「障害者差別解消部門」、「工賃向上部門」、「ナイスハート部門」の3部門において、12の企業・団体を表彰しました。



# とちぎ 県政の あゆみ 2017

月	日	できごと
1月	10	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
	10	Viewing(ビューイング)展 2017(13日まで)
	14	とちぎ結婚支援センター開所式
	16	とちぎの百様ジュニアコンクール表彰式
	22	家庭の日制定 50周年記念 心豊かな青少年を育む県民のつどい
	23	ふるさと活力応援隊発足式
	24	栃木県・日光市国民保護図上訓練
	28	栃木県文化振興大会
	31	栃木県農業青年研究大会
2月	1	「とちぎブランド取組方針」策定
	2	栃木県元気な農業コンクール表彰式
	2	損害保険ジャパン日本興亜(株)との包括連携協定締結
	3	森林・林業コンクール表彰式
	3	第66回関東東海花の展覧会(5日まで)
	5	とちぎ未来アスリートプロジェクト「エクセレントキッズ・ジュニア」認定式
	7	栃木県安全で安心なまちづくり県民会議
	7	「とちぎの器」NY展示商談会(11日まで)
	8	「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」シンポジウム

2月	9	キラリと光るとちぎの企業表彰式
	9	毎日農業記録賞表彰式
	12	ポッチャ体験イベント
	17	台湾高雄市との経済分野及び教育分野における友好協力に関する覚書締結
	21	一般国道408号 宇都宮高根沢バイパス(宇都宮市板戸町～高根沢町宝積寺)暫定2車線供用開始
	22	林業経営コンクール(3月6日にも実施)
	23	大塚製薬(株)との包括連携協定締結
3月	26	一般国道294号 小川湯津上バイパス(那珂川町小川～大田原市佐良土)開通
	27	とちぎブランド公式サイト「VERY GOOD LOCAL とちぎ」開設
	1	一般国道408号 真岡宇都宮バイパス(宇都宮市氷室町)供用開始
	9	東京海上日動火災保険(株)との包括連携協定締結
	11	「とちぎ防災の日」記念式典・とちぎ防災フェア
	16	「とちぎ版文化プログラム」策定
	24	栃木県雇用対策協定を締結
4月	27	一般県道高田筑西線 物井工区(真岡市高田)供用開始
	28	「第1回キラキラ☆介護事業所グランプリ」及び「栃木県キラキラ介護職員スマイルフォトコンテスト」
	31	第1回ツール・ド・とちぎ(4月2日まで)
	1	「とちぎ観光おもてなし条例」スタート
	1	「本物の出会い 栃木」プレデスティネーションキャンペーン(6月30日まで)
	2	自閉症啓発コンサート
	2	世界自閉症啓発デー ブルーライトアップ(8日まで)
	5	春の交通安全県民総ぐるみ運動オープニングセレモニー
	6	春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)
	8	「本物の出会い 栃木」プレデスティネーションキャンペーンオープニングセレモニー
16	第1回平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会	
18	「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議(20日まで)	

4月	25	県庁みつばちプロジェクト(5月26日まで)	6月	28	産業廃棄物運搬車両一斉検査
	7	ねんりんピックとちぎ 2017(28日まで)		29	平成 29 年度とちぎ農産物輸出促進会議
5月	8	山地災害防止パトロール出発式	30	一般国道 400 号 赤瀬西工区(大田原市赤瀬)供用開始	
	9	一般国道 119 号 田川大橋(宇都宮市石那田町)開通	7月	6	第 51 回交通安全子供自転車栃木県大会
	16	消費生活フェスタ		8	日光杉並木街道クリーン作戦
	17	知事による一日民生委員活動	10	「とちぎロボットフォーラム」平成 29 年度セミナー・交流会	
	17	フードバレーとちぎ推進協議会総会	10	県内スポーツチームに「食育キャプテン」を委嘱	
	19	第 71 回栃木県芸術祭(11月23日まで)	11	「UI ターン就職促進協定」を 100 校目と締結	
	20	英国大使館別荘記念公園が「日本造園学会田村剛賞」を受賞	13	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー	
	20	渡良瀬遊水地外来植物除去活動	14	栃木県フロンティア企業認証式	
	20	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」5周年記念イベント	15	栃木県立がんセンター開院 30 周年記念式典・講演会	
	22	県と県内 25 市町による「COOL CHOICE とちぎ」共同宣言	18	第 77 回国民体育大会開催内定	
29	総合スポーツゾーン新スタジアム起工式	18	総合スポーツゾーン新武道館起工式		
31	栃木県農業大学校オープンキャンパス(7月30日、8月18日にも開催)	21	栃木県・高根沢町防災図上総合訓練		
6月	3	栃木県スポーツ功労賞授与式(リンク栃木プレックス)	22	食品表示自由研究(30日にも実施)	
	8	不法投棄パトロール出発式	28	「栃木県 山のグレーディング」の作成・公表	
	13	栃木県名誉県民 故 船村徹氏を偲ぶ会	1	(株)ヨークベニマル及び(株)イトーヨーカ堂との包括連携協定締結	
	13	スカイパトロール(10月25日にも実施)	1	廃棄物処理施設見学バスツアー(2日にも実施)	
	15	とちまるゴルフクラブ利用者 70 万人達成記念セレモニー	1	ヘルプマークの配布を開始	
	16	第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会設立	6	英国・イタリア大使館別荘記念公園での宇都宮短期大学附属高校との連携イベント	
	16	「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」合同情報伝達訓練	11	第 2 回山の日記念全国大会	
	17	明治神宮野球場での栃木県 PR イベント	18	栃木県スポーツ功労賞授与式(宇賀耶早紀選手)	
	17	県民の日記念イベント	23	「とちぎUIJ ターン応援団」登録制度創設	
	17	お祭り屋台引き回しパレード、伝統芸能ステージ	24	栃木県消防防災ヘリコプター「おおりり」就航式	
	17	とちぎナイスハートバザール in けんちょう(12月8日にも実施)	24	「とちぎヘルスケア産業フォーラム」平成 29 年度セミナー・交流会	
	18	知事の米国・インディアナ州等訪問(24日まで)	25	主要地方道那須烏山矢板線 鹿子畑工区(さくら市金枝)供用開始	
	23	「とちぎならでは」のおもてなしフォーラム	26	農業試験場公開デー	
	24	男女共同参画を考える「とちぎ県民のつどい」	27	栃木県・大田原市総合防災訓練	
	24	「本物の出会い 栃木」プレデスティネーションキャンペーンクロージングイベント	9月	6	平成 29 年度地域中核企業認定証交付式
				7	「とちぎUIJ ターン促進協議会」初会合

9月	8	とちぎの元気な里山林サミット(9日まで)	10月	15	平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会による報告書の提出
	9	エリック・ホルコム インディアナ州知事の来県		16	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in 大阪
	19	秋の交通安全県民総ぐるみ運動「交通安全の灯」点灯式		18	「とちぎ木づかい条例」施行
	19	主要地方道那須西郷線 池田工区(那須町池田)供用開始		18	優良木材展示会(26日まで)
	21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)		20	プロジェクトマッピング in 県庁 ヒカリノタビ ~文化が彩る 栃木への誘い~(21日まで)
	23	少年の主張発表県大会		22	第59回関東ブロック民俗芸能大会
	23	子どもたちの木工工作コンクール表彰式		28	男女生き活き地域活動フォーラム
	24	栃木県・東北地区災害ボランティア対応力向上訓練		28	イタリア大使館別荘記念公園での宇都宮大学との連携イベント(11月11日まで)
	24	とちぎ木材フェスティバル「もくもくまつり2017」		28	食育推進大会
	24	第13回栃木県障害者スポーツ大会		28	栃木県伝統工芸品展2017(29日まで)
	28	仏・ヴォークリューズ県プロヴァンス・ジャポン協会会長の来県		28	とちぎ食と農ふれあいフェア2017(29日まで)
	29	一般県道県民の森矢板線 長井工区(矢板市長井)供用開始		30	とちぎ協働推進大会2017
	30	栃木県認知症フォーラム		2	第1回「いちご王国」プロモーション推進委員会
	10月	1		レンタサイクル実証運用の実施(11月まで)	2
1		総合運動公園サッカー・ラグビー場完成式	4	心豊かな青少年を育む県民のつどい in 栃木市	
2		栃木県スポーツ功労賞授与式(高藤直寿選手)	5	伐木技術競技会	
6		ハンガリーオリンピック委員会との事前トレーニングキャンプに係る覚書を締結	7	栃木県・佐野市国民保護共同図上訓練	
6		とちぎ花センター開園25周年記念式典	7	栃木県障害者芸術支援員養成研修(12日、22日、26日にも実施)	
10		英国大使館別荘記念公園入館者数10万人	7	第二期県立高等学校再編計画を策定	
10		「とちぎの元気な森づくり県民税」10年間延長が決定	7	福田知事によるハンガリー訪問(12日まで)	
10		「那須疏水」が世界かんがい施設遺産に登録	8	栃木県文化功労者表彰式	
11		第30回きのこ料理コンクール	9	栃木県農業担い手躍進大会	
13		第7回栃木県交通安全高齢者自転車大会	10	栃木県青少年健全育成成功労者等表彰式	
13		「とちぎインバウンド大臣」任命式・講演会	10	とちぎ女性活躍応援フォーラム2017	
14		とちぎ健康フェスタ2017	10	栃木の農産物ブランド価値向上戦略推進会議	
14		畜産酪農研究センター公開デー	11	ヒューマンフェスタとちぎ2017	
14		フレッシュファーマーズマルシェ2017	11	第9回「介護の日」フェスティバル in けんちょう	
		12	一般県道板荷引田線 松坂トンネル(鹿沼市板荷~引田)開通		
		13	「花粉の少ないとちぎの元気な森づくり協定」の締結		
		15	県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式		



11月	15	とちぎデザイン大賞表彰式及び栃木県優良デザイン商品選定証交付式
	16	「とちぎふるさと電気」創設についての基本合意書を締結
	17	主要地方道藤原宇都宮線 玉生北工区(塩谷町玉生)供用開始
	17	第37回全国アビリンピック(19日まで)
	20	「栃木県BCP策定支援プロジェクト」早期目標達成
	21	第9回栃木県交通・生活安全安心県民大会
	22	園芸大国とちぎづくり推進大会
	23	“輝くとちぎ人”の集い
	24	第55回技能五輪全国大会(27日まで)
	25	フェスタ in パルティ
	25	栃木県農業大学校第41回農大祭(26日まで)
	27	とちぎのいいもの商談会(28日まで)
	29	平成29年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(30日まで)
12月	1	とちぎのいいものPR事業 in 高雄
	1	「とちまるショップ」リニューアルオープン
	3	総合運動公園第2回桜の木の植樹会
	7	栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業入選者表彰式
	7	PR動画「知られ猿(ざる)とちぎ旅」公開
	7	栃木県障害者フォーラム
	11	栃木県芸術祭表彰式
	11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)
	11	第55回栃木県統計大会
	14	栃木県スポーツ功労賞授与式(檜崎智亜選手)
	16	未来へつなぐ農業フォーラム in とちぎ～学生×農業者 20年後の夢を語ろう～(17日まで)
	19	ジュニア知事さん表彰式
	20	日本郵便(株)との包括連携協定締結
	20	スマート農業とちぎ推進フォーラム
	21	第2回「いちご王国」プロモーション推進委員会



## **とちぎ県政のあゆみ 2017**

平成 30 年 3 月 30 日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160